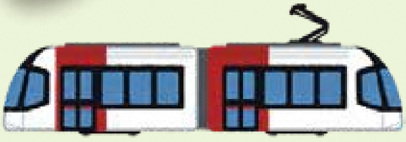
富山市

vol.53

ファミリー・サポート・センターだより



★学童からスタート★

★市内電車乗り場へ★

しっかり
手をつないで!

★市内電車待ち★

★プールに到着★

★乗車中★

★下車★

送迎サポート中のKさんとAちゃんの様子です。
市内電車に乗って、水泳教室に向かいます。
歩きながらお話することは、学校の出来事や友達とのこと、
好きなものや楽しかったことなど･･･
ゆっくりと会話をしながら、歩いていきます。
もちろん、交通事故のないよう安全に気を付けています。

ファミリー・サポート・センター会員（依頼会員・協力会員）に
アンケートのご協力をお願いしました。
頂いた結果をお知らせします。

アンケートの 依頼会員の声

Q1 利用してよかった点は？

①短時間で利用しやすい　7名
②料金がリーズナブルである　6名
③祖父母の様な安心感がある　5名
④協力会員宅、支援センター等、希望の場所で預かってもらえる　4名

Q2 ファミリー・サポートを利用する中で、お子さんに変化はありましたか？（どのように）

①はい　8名　　②いいえ　２名

- 安心することができ、楽しく習い事を続けることができている。
- 人見知りが激しかったが、利用するようになって他の人にも泣くことがなくなった。
- 自宅以外でお世話になるので、家で教えていないことも知識として身につく。

Q3 サポートであったエピソード

- 猫を触ったり、花を摘んだり普段なかなかできないことをさせてもらえた。
- 息子のことを見守っていただき、家庭では見せない姿を教えて頂いています。近くに親族がいない中、温かく寄り添っていただき、息子をサポートしてもらっています。
- 子どもが成長して利用が減っても遊びに行くなど、かわいがってもらいました。
- 利用の無い日でも、協力会員さんに会いたがりました。
- 育てている夏野菜を一緒に収穫しておやつ代わりに食べさせてくださり、家では味わえない経験をしています。

Q4 利用する上で、不便を感じたことは？

①依頼を受けてくれる協力会員が少ない　2名
②保護者（依頼会員）の都合に合わない時がある　2名
③協力会員との相性が良くなかった　0名
④その他　6名

- 連絡を簡単に取り合えるアプリなどがあれば便利かな。
- 有償とは言え、ボランティアに近く、毎日の利用が負担ではないかと気になる。
- 本部への連絡手段が電話だけなので、メールなどでも連絡できるとよい。
- 持参したおやつ以外のものを食べたため、家でご飯を食べてくれず、困ったことがあった。

Q5 ご意見やご感想、ご要望など

- 祖父母が遠方にいるため、子どもたちは祖父母と接する感じでいます。
- 両親とも実家が遠方で心細かったため、ファミ・サポで頼れる方にサポートしてもらって、安心しました。
- ファミ・サポの制度がないと、フルタイムの仕事は成立しません。これからも利用したいです。

令和５年度　子育てサポート講座　5月17日(水)～7月19日(水)

新しく協力会員を目指す方や既存会員でスキルアップを希望する方が、乳幼児のかかわり方や救命救急、親子で楽しめる科学実験など、保育実習を含め10回の講座を行いました。

どんなおもちゃができるかな～

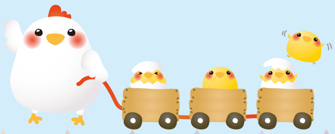
★アンケートより★

- どの年代においても“ほめる”事の大切さを再認識した
- 昔と今の子育ての違いを分かりやすく教えて頂いた

作ってみよう「コケコッコ」

●準備するもの
・紙コップ
・ようじ１本
・糸
・ウエットテッシュ

①紙コップの底にピンで穴を開ける
②ようじを半分に切り糸をまきつける。
③ようじを底にとおす。
④コップから出てる糸をウエットテッシュでこすると「コケコッコー」



結果報告

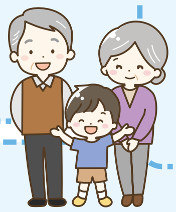
協力会員の声

ご回答を頂いた会員の方々、
ご協力ありがとうございました。

Q1 援助活動をしてよかった点は？

①短時間でもサポートできるので活動しやすい　10名
②子どもから元気をもらえる。　12名
③自分の子育て経験を生かすことができる　7名
④人とのかかわりができ。社会参加ができる　10名
⑤その他　1名

- ママの安心したお顔や感謝の言葉、ママが充実した時間を過ごすことができた姿を見ると、とても嬉しくなります。
- 懐いてくれると嬉しいです。今から孫ができるときまでの練習かしら！
- 依頼会員の力になっていると思える。
- 預かっているお子さんが孫と被り、県外に住む娘も同じように助けてもらっていることに感謝して、同じように若いパパママを助けてあげることができて良かった。



Q2 活動で関わったお子さんに変化はありましたか？

①はい　11名　　②いいえ　5名

- 実の祖母のように甘えてきたり、親へのお願いを託してきたり、挨拶がきちんとできるようになった。
- 長期のサポートでは、顔を合わせると笑顔を見せてくれるようになります。
- 初日は、泣いて過ごすお子さんも慣れてくると、帰るのを嫌がり、抱きついて離れないこともあります。
- 預かり前後でできなかったことができるようになったり意欲的になったりして成長を感じたと、パパママに言われて嬉しかったです。
- 当初遠慮気味だった子どもがわがままを言ったり、甘えたりするようになった。
- 勉強もスポーツも頑張り屋さんで、お母さんを助けている1年生の女の子、本当は甘えたいのに、妹の面倒もよく見ている子、私に妹にかまれた傷を見せてくれた時、一緒になって怒って慰めたら、パーと顔が明るくなって無理しないで素の自分でいられるようになりました。

Q3 援助活動中にあったエピソードは？

- 送迎の車の中は靴で座席やシートが汚れることがあるので拭いていたら、「お家の車と違うから、靴でシート押したらだめだよ」とお兄ちゃんが弟に言ってくれたこと、笑顔になりました。
- 子どもが寝ている間に、ママと一緒にティータイムをする事があります。育児のことだけでなく、色々な話をする事で、子どもだけでなくママのリフレッシュの時間になっているのかと感じます。
- 襖を開け閉めして遊んでいて、指を挟んだことがありました。大きなけがではありませんでしたが、痛かったと思います。
- 新年度になって保育園に迎えに行きましたが、進級してクラス替えになったことに気づかず以前のクラスに行き、お子さんがいなくてあわてたことがありました。後日、ママと爆笑してしまいました。
- 道ですれ違った中学生が「アレ？」私も「あっ！」あれから10年、嬉しい瞬間に幸せでした。
- サポートの期間がしばらく空いたので、「泣いてしまうかな」と心配していたのですが、顔を合わせたとたんに笑顔で手を伸ばしてきました。しばらく遊んでから、抱っこをすると安心して眠っていきました。至福のひと時です。
- 週1～2回のサポートを半年以上しています。もうすぐ1歳になるのですが、眠くなるとそばにやってきて、膝にもたれて眠ります。親子とはまた違う愛着関係が築かれているんだな～とうれし涙が出ます。
- ご自宅でのサポート中、なぜかおもてなしをしてくれようとする兄弟がいました（笑）お断りするのが…

Q4 活動をするにあたり、不便を感じたことは？

①活動報告書や報償費のやり取りに時間がかかる　3名
②紹介を受けたが、依頼会員からの連絡が遅い　0名
③依頼を受けたお子さんがぐずったり、いう事を聞かなかったりする　3名
④その他　6名

- 小学生の預かりで、ドリルなどを持参したとき、「先に終わらせようか」と言うと不機嫌になるお子さんがいて困りました。
- 活動報告書のハンコが面倒でしたが、不要になってよかったです。
- 紹介を受けて、事前打ち合わせをした後に、連絡しますと言ったきり、連絡がない。援助不要の場合でも、連絡は欲しい。
- 致し方ないのですが、前日のキャンセルが割と多く、予定を開けているので、少し辛いです。

Q5 ご意見やご感想、ご要望など

- 誰かの力になりたいと思っている人と誰かの力を借りたいと思っている人が、気持ちよく利用できるシステムでありますように。
- お預かりするお子さんは可愛い！！私自身の張り合いにつながっています。
- すべてが、上手なお付き合い、うまくいくサポートとはいきませんが、それでも私を必要としてくれる人がいたら嬉しいです。気の合うサポートができたらそれは「ミラクル」な出会い、出来事です。
- 小学生の時サポートしていた女の子と偶然の再会をしました二十歳を過ぎて、素敵な女性になっていました。でも、当時と変わらず、とてもかわいらしくなっていました。
- 初めてで緊張しているママに「実家のお母さんに言うように遠慮なくね」とママは「実家は遠いので嬉しいです…」あれから数十年ママとはどんどん年が離れ、これからは何て言おう。子ども達には「富山のおばあちゃん」と言おうかな。

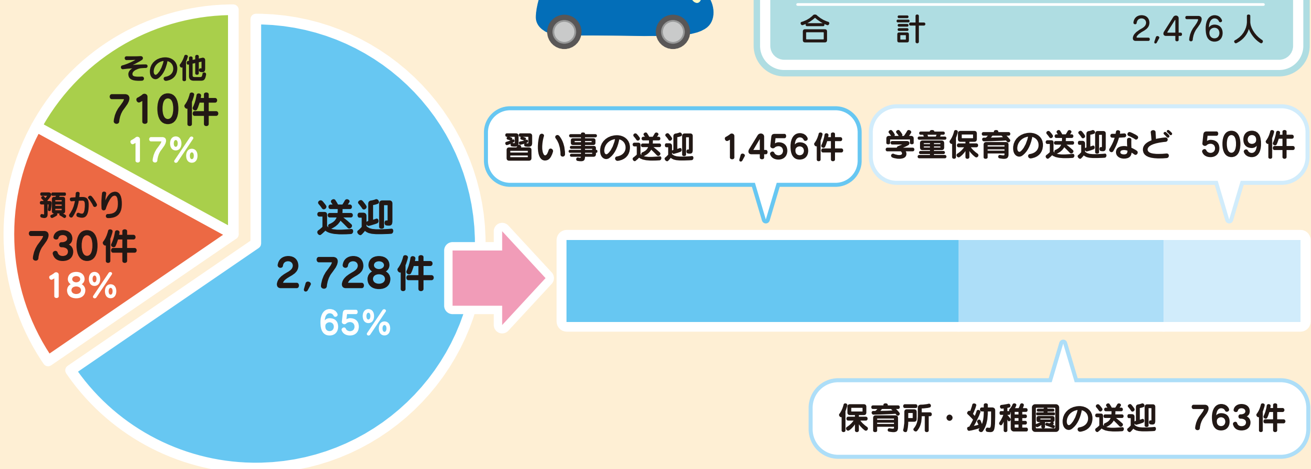
令和４年度活動状況・会員報告

令和５年３月末日現在

主な活動内容と件数　合計 4,168 件

1	送迎	2,728 件
2	預かり	730 件
3	その他	710 件

会員数	
依頼会員	1,701 人
協力会員	655 人
両方会員	120 人
合　　計	2,476 人



※その他（保護者在宅中の育児サポート、休み時の援助など）

センターからのお知らせとお願い

●子育て応援券の配布方法等などの変更について

令和６年度から、新たな子育て支援ポイント制度としてスタートする予定です。令和５年度中の子育て応援券の新規配布は休止となっています。新たな子育て支援ポイントの利用方法などは改めてご案内いたします。

●活動報告書の受け渡しについて

活動報告書の提出期限は、活動日の翌月５日までです。サポートを依頼された方は、なるべく早めに協力会員に活動報告書を渡してください。

●救命救急講習会について

協力会員・両方会員は救命救急講習の受講が義務付けられています。少なくとも５年に一度は受講をお願いします。

本年度の今後の講習日は　時間はいずれも 10 時～ 11 時 30 分です

10 月 24 日（火）	新庄北地区センター
11 月 20 日（月）	蜷川地区センター
令和６年　２月 18 日（日）	婦中ふれあい館

お問い合わせ　富山市ファミリー・サポート・センター

本　　　部	富山市新富町一丁目２番３号　CiC４階		TEL　076-432-7212 FAX　076-444-1238
大沢野窓口	大沢野行政サービスセンター	こども福祉係内	TEL　076-467-5830
大 山 窓 口	大山行政サービスセンター	こども福祉係内	TEL　076-483-2594
八 尾 窓 口	八尾行政サービスセンター	こども福祉係内	TEL　076-455-2461
婦 中 窓 口	婦中行政サービスセンター	こども福祉係内	TEL　076-465-2130

令和５年９月発行